※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(学)英語演習	2	3	表現の基礎英語構文ノート８６

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英文法は英文の読解や作文をする際に必ず役に立ちます。文法を知ることで英文が示す意味の細かなニュアンスの違いを読み取ったり、表現したりすることができるようになります。自由な英語表現のために必要なルールを学びましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第 3 学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	◆料理や工作など、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる ◆ダンスなど一連の行動について、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる	◆趣味やスポーツなど、日常的なトピックに関する文の要点を理解することができる ◆簡単な英語で表現されていれば、旅行ガイドブックやレシピを読んで、自分にとって必要な情報を理解することができる	◆駅や店などの日常的な場面において、さまざまな語句や表現を用いてやり取りすることができる ◆簡単な語句や表現を使って、意見を伝えたり、人や物を比べたりすることができる	◆写真や地図など視覚的補助を利用しながら、学校や地域など身近な話題について、短いスピーチをすることができる ◆理由とともに自分のスケジュールや 身近な話題に対する意見等を短く述べること ができる	◆身近な話題に関して、経験したことや自分に関係のあることであれば、簡単な描写ができる ◆身近な話題に関して読んだり聞いたりした内容に対する意見や感想を、簡単な語句や基礎的な表現を用いて書くことができる

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	これまでに身に付けてきた英語の文法知識を活用し、問題演習形式でそれらを問い、幅広い文法知識を身に付けることを目標とする。	文法知識を問題演習形式だけでなく、四技能五領域の書く・話す（発表・やりとり）も用いて英語技能の向上を目標とする。	国際社会の中で生きることを意識させるテーマや内容を取り扱い、異文化理解についても深めることを目標とする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和 4 年度以降入学生用

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	UNIT1 It を含む構文 Part1 It を含む構文 Part2 UNIT2 不定詞を含む構文 Part 1	聞くこと	a: ゆっくりはっきりと話される英文を聞き、正しく意味を理解できる。 b: ゆっくりはっきりと話される会話を聞き、話し手の感情や指示を理解・推測できる。 c:英文を聞き取ることができるように取り組む姿勢が見られる。	授業内活動
		読むこと	a: 文法的な構造を理解し、英文の意味を正しく理解できる。 b: 英単語や英文の前後関係から意味を推測し理解できる。 c: 英文の内容を深く考えようとする姿勢が見られる。	授業内活動
		話すこと （やり取り）	a: コミュニケーションに支障のない英語で考えや理由を伝えることができる。 b: 考えや理由を別の文法や表現を使い、言い換えて相手に伝えることができる。 c: 授業内で学習した表現や文法を使って話そうとする姿勢が見られる。	授業内活動
		書くこと	a: 文法的誤りのない正しい英文を書くことができる。 b: 英文を別の文法や表現を使って書き換えることができる。 c: 自身が書いた英文の文法的誤りを正そうとする姿勢が見られる。	授業内活動
	中間考査			
	UNIT2 不定詞を含む構文 Part 2 不定詞を含む構文 Part 3 UNIT3 動名詞を含む構文 Part1	聞くこと	a: ゆっくりはっきりと話される英文を聞き、正しく意味を理解できる。 b: ゆっくりはっきりと話される会話を聞き、話し手の感情や指示を理解・推測できる。 c:英文を聞き取ることができるように取り組む姿勢が見られる。	授業内活動
		読むこと	a: 文法的な構造を理解し、英文の意味を正しく理解できる。 b: 英単語や英文の前後関係から意味を推測し理解できる。 c: 英文の内容を深く考えようとする姿勢が見られる。	授業内活動
		話すこと （やり取り）	a: コミュニケーションに支障のない英語で考えや理由を伝えることができる。 b: 考えや理由を別の文法や表現を使い、言い換えて相手に伝えることができる。 c: 授業内で学習した表現や文法を使って話そうとする姿勢が見られる。	授業内活動
		書くこと	a: 文法的誤りのない正しい英文を書くことができる。 b: 英文を別の文法や表現を使って書き換えることができる。 c: 自身が書いた英文の文法的誤りを正そうとする姿勢が見られる。	授業内活動
	期末考査			
2	UNIT3 動名詞を含む構文 Part2 UNIT3 動名詞を含む構文 Part3 UNIT4 分詞を含む構文 Part1	聞くこと	a: ゆっくりはっきりと話される英文を聞き、正しく意味を理解できる。 b: ゆっくりはっきりと話される会話を聞き、話し手の感情や指示を理解・推測できる。 c:英文を聞き取ることができるように取り組む姿勢が見られる。	授業内活動
		読むこと	a: 文法的な構造を理解し、英文の意味を正しく理解できる。 b: 英単語や英文の前後関係から意味を推測し理解できる。 c: 英文の内容を深く考えようとする姿勢が見られる。	授業内活動
		話すこと （やり取り）	a: コミュニケーションに支障のない英語で考えや理由を伝えることができる。 b: 考えや理由を別の文法や表現を使い、言い換えて相手に伝えることができる。 c: 授業内で学習した表現や文法を使って話そうとする姿勢が見られる。	授業内活動
		書くこと	a: 文法的誤りのない正しい英文を書くことができる。 b: 英文を別の文法や表現を使って書き換えることができる。 c: 自身が書いた英文の文法的誤りを正そうとする姿勢が見られる。	授業内活動
	中間考査			
	UNIT4 分詞を含む構文 Part2	聞くこと	a: ゆっくりはっきりと話される英文を聞き、正しく意味を理解できる。 b: ゆっくりはっきりと話される会話を聞き、話し手の感情や指示を理解・推測できる。	授業内活動

※令和４年度以降入学生用

	UNIT5 関係詞を含む構文 Part１ 関係詞を含む構文 Part２		c:英文を聞き取ることができるように取り組む姿勢が見られる。	
		読むこと	a: 文法的な構造を理解し、英文の意味を正しく理解できる。 b: 英単語や英文の前後関係から意味を推測し理解できる。 c: 英文の内容を深く考えようとする姿勢が見られる。	授業内活動
		話すこと （やり取り）	a: コミュニケーションに支障のない英語で考えや理由を伝えることができる。 b: 考えや理由を別の文法や表現を使い、言い換えて相手に伝えることができる。 c: 授業内で学習した表現や文法を使って話そうとする姿勢が見られる。	授業内活動
		書くこと	a: 文法的誤りのない正しい英文を書くことができる。 b: 英文を別の文法や表現を使って書き換えることができる。 c: 自身が書いた英文の文法的誤りを正そうとする姿勢が見られる。	授業内活動
	期末考査			
3	UNIT5 関係詞を含む構文 Part３ 関係詞を含む構文 Part４ UNIT6 否定構文 PART1	聞くこと	a: ゆっくりはっきりと話される英文を聞き、正しく意味を理解できる。 b: ゆっくりはっきりと話される会話を聞き、話し手の感情や指示を理解・推測できる。 c:英文を聞き取ることができるように取り組む姿勢が見られる。	授業内活動
		読むこと	a: 文法的な構造を理解し、英文の意味を正しく理解できる。 b: 英単語や英文の前後関係から意味を推測し理解できる。 c: 英文の内容を深く考えようとする姿勢が見られる。	授業内活動
		話すこと （やり取り）	a: コミュニケーションに支障のない英語で考えや理由を伝えることができる。 b: 考えや理由を別の文法や表現を使い、言い換えて相手に伝えることができる。 c: 授業内で学習した表現や文法を使って話そうとする姿勢が見られる。	授業内活動
		書くこと	a: 文法的誤りのない正しい英文を書くことができる。 b: 英文を別の文法や表現を使って書き換えることができる。 c: 自身が書いた英文の文法的誤りを正そうとする姿勢が見られる。	授業内活動
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度